

「男の往来線作り

—安心して自分の思いを実現する場～
友達との繋がりへ—

幼保連携型認定こども園 愛泉こども園

ばら組 中村 桂子

主題設定の 理由

4月。年長に進級し、環境の変化への不安や緊張が表情や言動から窺い知る事ができたT男が、この1学期の間で、徐々に安心して過ごせるようになり、友達と一緒に夢中になれる遊びを見つけて遊ぶ姿が見られるようになった。T男にとって何が変容のきっかけとなつたのかを振り返ると、『保育室』と『アトリエ』という2つの場所で遊ぶ事が大きな要因となっている事に気付いた。

今回、事例をたどりながら、T男にとって保育室又はアトリエとはどのような場所であるかを探り、今後の援助の参考になればと思いこの主題を設定した。

進級当初の T男について

- ・ 大変穏やかで弟思いの優しい性格。真面目で慎重に行動する事が出来る。
- ・ 友達と関わるは少ないが、保育者には当児から話しかける事ができ、困っている事、不安などの自分の気持ちを自分の言葉でしっかりと伝える事ができる。
- ・ 手先が器用で保育者の傍で折り紙、製作をしたり、紐ごまを回す事も得意で毎日のように遊んでいた。
- ・ 友達と遊びたい気持ちがありながらも、自分から声を掛けられず、保育者が仲介しても、鬼ごっこ際「僕足が遅いから」と消極的になる事があった。
- ・ この時期、新しい担任に対してどのように接してよいか探り合いの状態。隣で静かに製作をしていたかと思えば、「折り紙つくりなさあ～い！」とイタズラっぽく言う姿が見られ、T男なりに保育者との関係づくりを模索していた様子が見られた。
- ・ このように良い所が沢山ありながらも、自信の無さや緊張から、十分に自分を出せていない様子。

保育者の願い

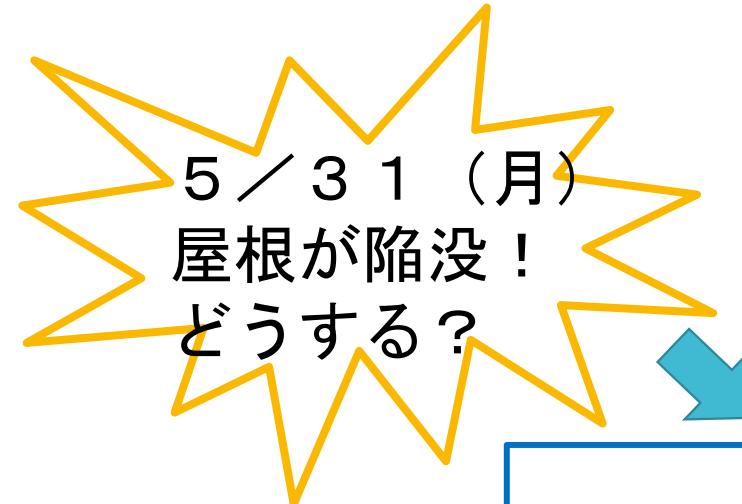
- ・安心して遊べる場、人、モノを見つけて欲しい。
- ・自分に自信を持ち、遊びや生活を送れるようになって欲しい。

- ①5月6日（木）～10日（月） アトリエへ行ってきます
- ②5月12日（水） お祭りごっこのサークルタイム
- ③5月13日（木） 在来線についてのサークルタイム①
- ④5月14日（金） 翌日「あれっ？やらないの？」
- ⑤5月18日（火） アトリエで在来線作ってるよ！
- ⑥5月19日（水） 在来線についてのサークルタイム②
- ⑦5月21日（金） 線路作りはアトリエで
アトリエでの線路作り
線路は続くよこども園
- ⑧5月24日（月） アトリエから出会いの広場へお引っ越し
- ⑨5月26日（水） 車掌さんの帽子

考察・反省

- ・『アトリエ』という空間や有坂先生が、進級し環境の変化にたいする不安があったT男にとって、拠り所、安心基地となった。
- ・担任だけで子どもを支えるのではなく、アトリエでは有坂先生、それ以外の場所では、子ども達の遊びを見かけた他クラスの保育者や多くの職員が声を掛けたり、時に見守り、必要に応じた援助を行う支え合う保育が、子ども達の大きな安心、遊びを支えている。
- ・この時期にクラス内には、新しい環境になかなか慣れる事が難しく不安定な子がおり、担任がクラスをなかなか離れられず、線路作りが園内にどんどん伸びていった様子など、後で気づかされ、T男の当初の「本当に乗れる在来線を作りたい」「線路を電車で走りたい！」という思いをどうしたら支えられるだろうかと悩み、学年の保育者たちとWeb形式で話し合いアドバイスを貰いながら進めていった。
- ・T男の思いが友達に繋がり4月当初の不安で一杯だった姿から、安心して自分のやりたい事を実現しながら友達と関わるようになり現在も形を変えながら、遊び、仲間関係が続いている事に大きな成長を感じた。

さいごに…



「船なら屋根がなく
てもいいじゃん！」
と
海賊船になり…

